

2026年東日本大震災伝承活動アンケート調査 目的



<2024継続>
私たちが
目指す社会
の姿

災害で命が失われない社会、被災者や被災地域の
苦難を軽減し再生に向かうことのできる社会

災害から命が守れる社会の実現のために、
震災伝承の推進・継続を支える取組の一環
として2018年より毎年調査。

第1弾の来訪数調査（1月実施、2月公表）と
あわせ、現状と課題を冊子にして公開。

社会全体の
防災力向上
に向けた
重点テーマ

- A. 伝承の危機的状況（Q1）
- B. 伝承内容と価値と促進方法（Q2,Q3）
- C. 伝承経費負担のこれまでとこれから（Q4）
- D. 伝承活動へのアクセス現状と人材（Q5,6）
- E. 東北3県の復興祈念公園のハブ機能（Q7）

2025 調査の目的

3.11の伝承活動実践者の立場で

1. 伝承の危機的現状だけでなく、
価値や可能性の共有基盤を醸
成する
2. 国や自治体への防災推進提言を
支える客観的資料とする

<2024継続>
そのために
3.11被災地
の伝承主体
が取り組む
べきこと

1. 伝承主体・施設等の連携による相乗効果発揮（連携）
2. 効果的な伝承活動実現のための企画力の向上（企画）
3. 経験と教訓を伝え継ぐための次世代人材育成（育成）
4. 持続的な震災伝承活動(※1)を支える環境整備

調査の目的

3.11の伝承活動実践者の立場から

1. 伝承活動の現場の取り組みの現
状・問題点を明確にする
2. 目指す方向性、改善に向けたア
イディアを出し合う

(※1)「第2期復興・創生期間」以降における東日本大震災からの復興基本方針の変更について（令和7年6月20日閣議決定）

「被災各地の追悼・祈念施設、震災遺構、伝承施設等の間で連携しつつ、東日本大震災の記憶と教訓を後世へ継承」

「令和8年度以降も東日本大震災の風化防止と教訓の継承の取組は継続する必要があり、国、地方公共団体、民間がそれぞれの役割を果たしながら連携して進める」とする一方、地震・津波被災地域で「心の復興」事業の継続や、震災伝承活動を直接支える制度や施策についての記載はない

2026年アンケート調査 設問構成



社会全体の
防災力向上
に向けた
重点テーマ

- A. 伝承の危機的状況 (Q1)
- B. 伝承内容と価値と促進方法 (Q2,Q3)
- C. 伝承経費負担のこれまでとこれから (Q4)
- D. 伝承活動へのアクセス現状と人材 (Q5,6)
- E. 東北3県の復興祈念公園のハブ機能 (Q7)

- 1. 伝承の危機的現状だけでなく、
価値や可能性の共有基盤を醸成
する
- 2. 国や自治体への防災推進提言を
支える客観的資料とする

Q1. 伝承の危機的状況(継続調査)

- (1) 活動継続への不安：現在、活動継続に
どの程度の不安を感じていますか？
 - (2) 活動資金の見通し：2027年度以降の
「活動資金」の見通し（1,3,10,30年後）
 - (3) 伝承人材の見通し：2027年度以降の
「伝承人材」の見通し（1,3,10,30年後）
- 【意図】 「資金・人材の危機」の継続把握

Q2. 伝承内容と来訪者への価値

- (1) 参加者・来館者増加の効果が高いプロ
グラム・展示内容
 - (2) 防災意識向上・防災行動変化の効果が
高いプログラム・展示内容
 - (3) 目指している参加者・来訪者の変化
 - (4) プログラムや展示の具体的な改善内容
 - (5) プログラムや展示の改善頻度
 - (6) 具体的な変化のエピソード
- 【意図】 伝承の目標と質の向上の取り組み把握

Q3. 伝承の対象層と促進方法

- (1) 重視している層と実際の来訪層
 - (2) 公的に実施して欲しい支援と手法
- 【意図】 ターゲット層と支援の期待の把握

Q4. 伝承の対価と継続の負担

- (1) 来訪者に負担してもらう価格
 - (2) 来訪者対価は組織・施設持続に十分か
 - (3) これまでどのように補填したか
 - (4) 次世代が、今後どう賄うのが適切か
 - (5) 伝承の費用や負担の在り方へのご意見
- 【意図】 対価でのカバー範囲とこれまでの善
意依存の可視化。今後の財源期待可視化。

Q5. 伝承へのアクセス

- (1) 市町村外・県外・海外からの来訪数
 - (2) 来訪数増減に影響のあるアクセス要素
 - (3) 現地訪問以外の事前・事後学習
- 【意図】 被災地外からの訪問数と立地条件の
影響、前後学習の提供状況の把握

Q6. 伝承を担う人材

- (1) 伝承継続に重要な人材
 - (2) 次世代に参画してもらう制度の必要性
 - (3) 課題改善やつなぎ役を担う組織の必要性
 - (4) 伝承の人材や体制の在り方へのご意見
- 【意図】 語り部の重要性と改善を続けるための
人材・制度・組織の重要性可視化

Q7. 各県祈念公園の現状と期待

- (1) 各県の国が関わる復興祈念公園との連
携・協働について(A)これまでの実現
と(B)今後の期待の具体例
 - (2) 各県の祈念公園へのご意見
- 【意図】 閣議決定により整備され、後世への
伝承と多様な参画を掲げた祈念公園との協働の
現状とネットワーク中核としての期待の可視化

Q8. 311MNへの期待(継続調査)

- (1) 311メモリアルネットワークの取り組み
の必要性
- 【意図】 広域連携活動への反映